

N中一T先生のあたりまえ

その① 「 地域との協働 」

生徒の興味・関心や制作意欲を高められるように、地域の職人等プロの方を講師としてお招きし、本物に触れる体験や話をうかがう場を設定しています。



また、地区の民生委員

児童委員の方に地域に関する題材のアンケートに協力していただいたり、来校して美術の授業を参観しながらアドバイスをいただいたりしています。



そして、自分たちでつくった作品を用いて、どのような形で地域に貢献したいかを生徒に考えさせています。ボランティア活動で協力してくださった方、交通安全や伝統行事で生徒がお世話になった方等へ感謝の気持ちを伝えながら作品を手渡したり、環境エコや日常生活に役立ててほしいと街頭で作品をプレゼントしたりしました。

その② 「 普段使いのタブレット 」



参考作品の鑑賞、参考資料のインターネット検索、描きたい場所やもの、ポーズの撮影等、便利な道具としてタブレットを生徒が日常的に活用しています。黒板にQRコードを掲示したり、資料置き場にシートや参考資料を入れたりすると、生徒が必要に応じて活用します。アイデアスケッチでは、手描きかタブレットの使い易い方を生徒が自由に選択します。また、途中まで手描きした形をカメラで撮って、タブレットで構図や配色等を考える生徒もいます。そして、制作過程を保存しポートフォリオとして、また、提出させて教師の見取りとしても役立てています。